

○親の気持ちの伝え方 + (ﾌﾟﾗｽ)のこゝろのことで ～県PTA 連合研究大会～



11月30日(土)、神戸芸術センターにおいて、県公立高等学校 PTA 連合研究大会が行われました。テーマは、「PTA 活動の活性化と家庭・学校・地域の連携強化」です。学校からは、浅田 PTA 会長、兎塚地区の上田様、教頭先生と私で参加してきました。星陵高校のコーラス部が、美しい歌声をアトラクションで響かせた後開会しました。

午前中は、村松順二氏による「親子の生活の質を向上させる脳と言葉の使い方」の講演でした。プラスの言葉を常に使って語り掛け、人間の潜在意識(無意識の領域)を動かしていくことの大切さを語られました。

午後は、氷上西高校、東播磨高校(前任校)、県立大付属高校の3校の実践発表がありました。氷上西は各学年1クラスの小規模校、地元密着の活動は、本校とよく似ていました。放課後の生徒の居場所「放課後カフェ」は地域との交流場所ともなっていて、参考になりそうです。東播磨、県立大付属は、地域との防災訓練でした。本校も避難所に指定されていますので、地域との取り組みを考えていく必要があると思いました。学校の活動がPTAや地域に支えられ、連携を図っている取り組みの発表でした。



○雨の中でも元気に ～スタートは雨… 12月あいさつ運動～



12月のあいさつ運動は、あいにくの雨でしたが、新生徒会執行部が元気に行いました。小学生も元気に挨拶を返してくれました。

村岡小前の横断歩道で止まってくれたドライバーに、村岡小学生は帽子をとって、

「ありがとうございました」とお辞儀をしてお礼の言葉を述べていました。その姿に感激、雨の中でしたが、さわやかな気持ちになりました。